

2026年7月10日

2026年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第6回 7月上旬分)

香川県水産試験場 環境・資源研究課 (植田)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

卵の出現数は前年を上回ったものの、平年は下回った。

前年	2025年7月1日	(7点の平均)	3.4 個/m ³
前回	2026年6月16日	(7点の平均)	21.6 個/m ³
今回	2026年7月1日	(7点の平均)	9.6 個/m ³
※7月上旬の平年値			16.3 個/m ³

○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚の出現数は前年及び平年を下回った。

前年	2025年7月1日	(7点の平均)	0.4 尾/m ³
前回	2026年6月16日	(7点の平均)	1.8 尾/m ³
今回	2026年7月1日	(7点の平均)	0.2 尾/m ³
※7月上旬の平年値			2.2 尾/m ³

○プランクトン調査

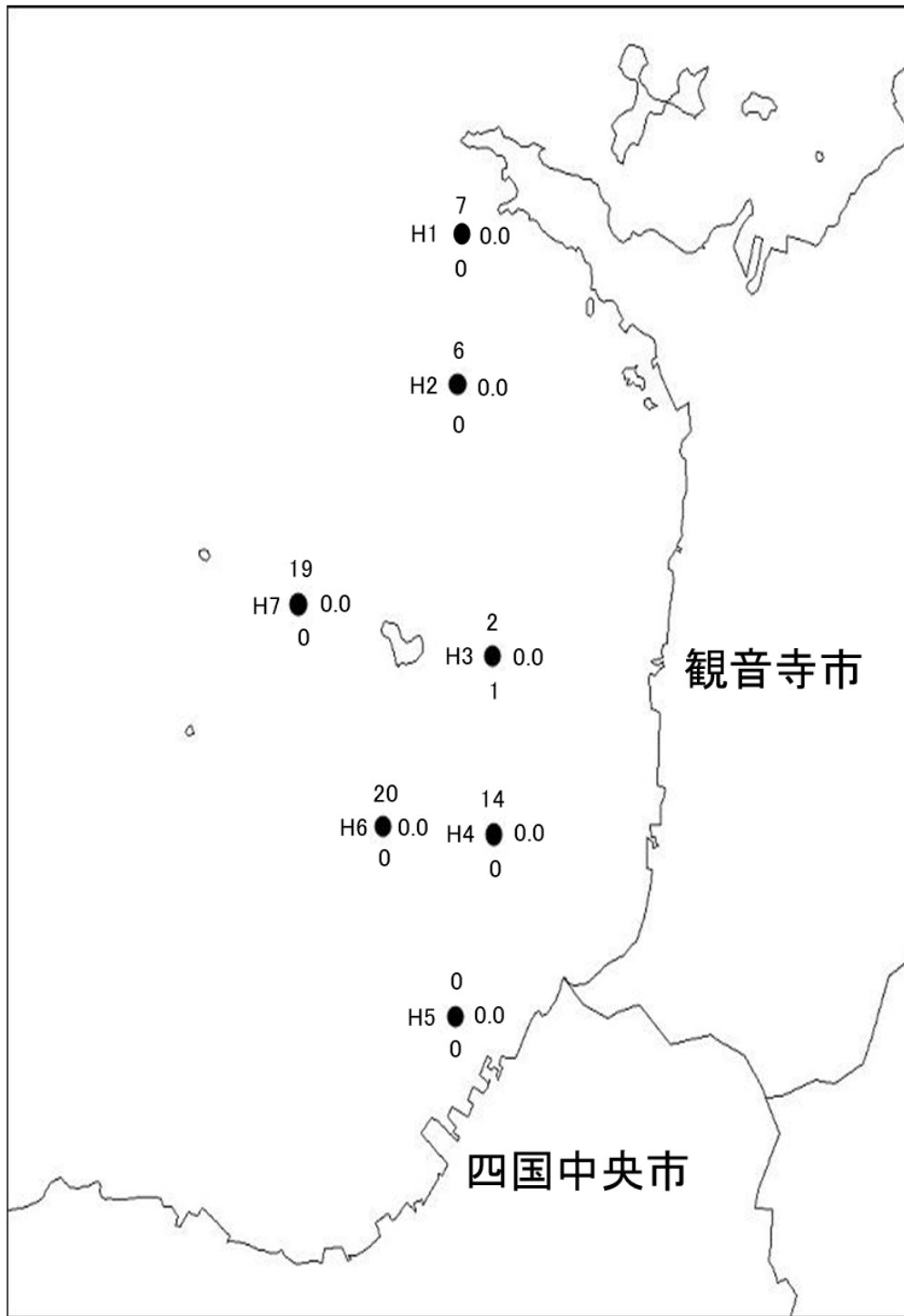
カタクチイワシの主要な餌であるカイアシ類量は、平年を下回った。

○カブトクラゲ調査

カタクチイワシの餌料競合種であるカブトクラゲ量は、前年及び平年を下回った。

次回の調査は7月16日(木)に実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(2026/7/1)



●の上側がカタクチイワシ卵密度(卵数/m³)を、
下側がカタクチイワシ仔魚密度(仔魚数/m³)を、
右側がカイアシ類密度(カイアシ類量ml/m³)を示す。

※カイアシ類量は、プランクトン採集量(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

※卵稚仔数は小数点以下第一位を四捨五入した値。

21 ← 卵密度
凡例 ● 0.6 ← カイアシ類密度
5 ← 仔魚密度

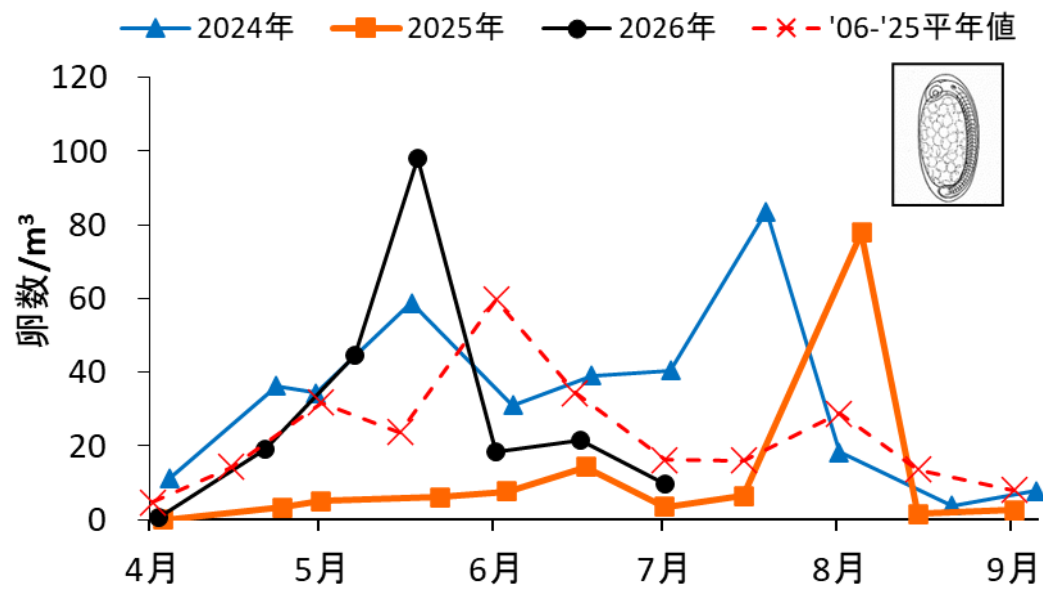


図. カタクチイワシ卵数の推移

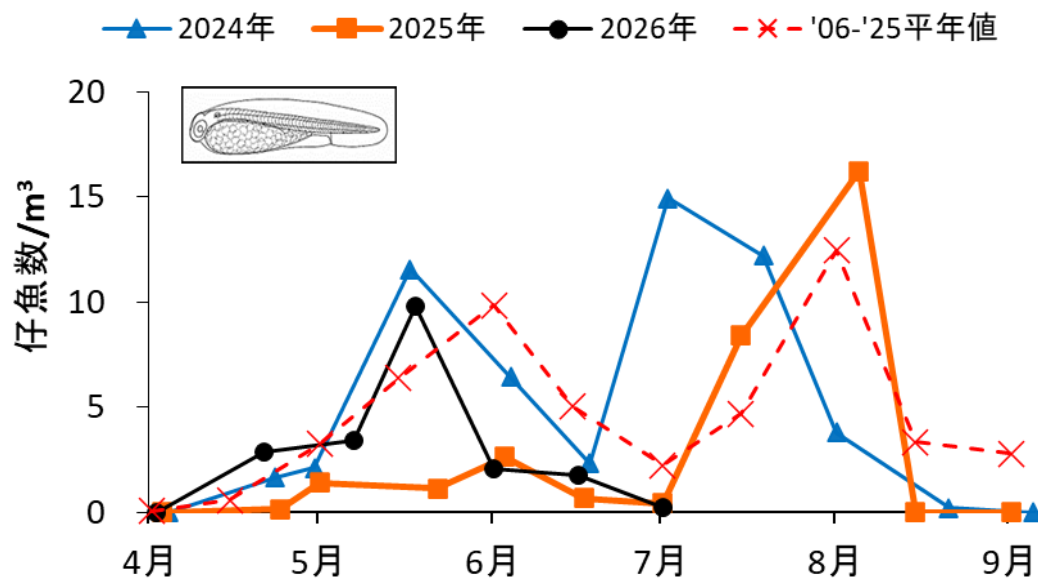


図. カタクチイワシ仔魚数の推移

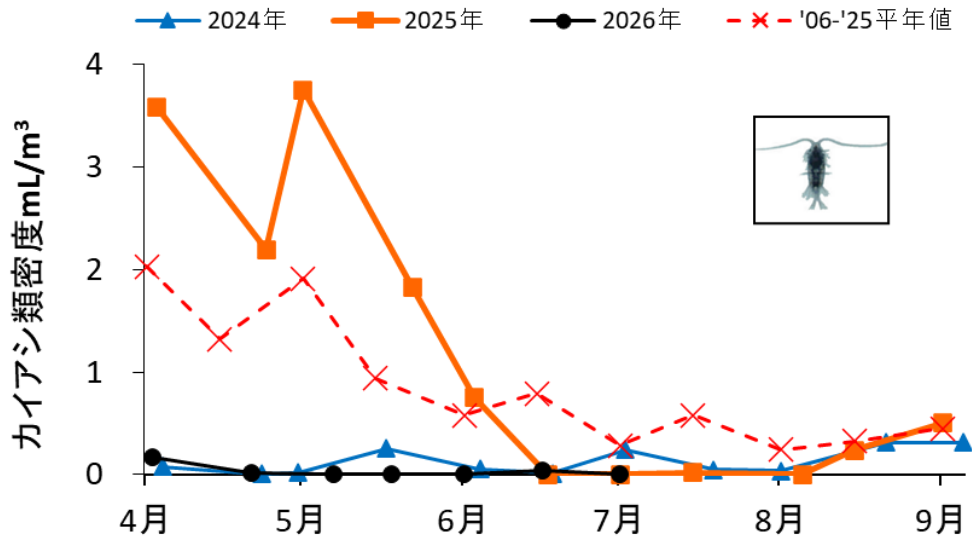


図. カイアシ類量の推移

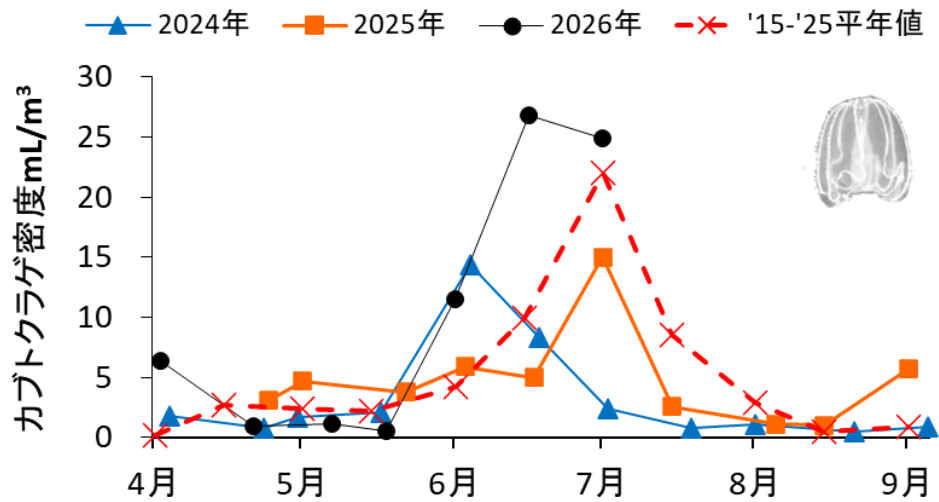


図. カブトクラゲ量の推移

※カイアシ類量は、プランクトン採集量（沈殿量）に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カブトクラゲは、丸特Bネットによる全定点の平均採集量。

※この報告の情報により不利益等が発生した場合において、水産試験場は何ら責任は負いません。

2026 年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(6回目)

調査日: 2026/7/1

S T	曳網水深 (m)	表層水温 (℃)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ仔魚	マイワシ仔魚	その他稚仔
H1	20	24.7	19	0	8	0	0.0	0
H2	20	24.8	16	0	12	0	0.0	1
H3	20	25.0	6	0	1	2	0.0	1
H4	20	25.4	33	0	6	0	0.0	0
H5	20	24.9	1	0	18	0	0.0	0
H6	20	24.9	53	0	8	1	0.0	1
H7	20	24.7	54	0	36	1	0.0	2
平均		24.9	26	0	13	1	0	1

※卵稚仔数は採集数を示す。